

～下記の研究を行います～

『HIV 感染者の炎症と凝固機能に関する検討』

【研究責任者】 渡邊 大

【研究の目的】 HIV 感染症は慢性的な炎症を伴う疾患です。炎症は身体を守る生体の防御反応ですが、過剰に起こったり慢性化すると新たな病気の原因にもつながります。本研究では炎症性マーカー（炎症の大きさの示す指標）を測定し、凝固機能（血液の固まりやすさ）との関連性について検討いたします。

【研究の期間】 研究許可日～2026 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

「新規凝固機能検査を用いた抗 HIV 療法中の HIV 感染者の凝固機能異常に関する検討」に参加いただいた患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：上記研究で採取した血液を用いて炎症性マーカーを測定します。

情報：上記研究で収集した下記の情報（新たに情報を収集することはありません）

生年月、性別、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、HIV-1 感染症の推定感染経路、処方された抗 HIV 薬の内容と処方期間、血液学的検査（白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数）、血液生化学的検査（TP、Alb、T-Cho、LDL-C、TG、HDL-C、CRP）、凝固機能検査等

【情報等収集開始日】 2025 年 8 月 12 日

【情報等の管理責任者の氏名】 国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究」

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シ-オーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研

究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14

TEL (06) 6942-1331 (代)

研究責任者 臨床研究センター エイズ先端医療研究部長 渡邊 大